

市民参加の現状と課題【1班】

(1) 自治基本条例

【参加の現状】

- ・ 市条例勉強会・審議会
- ・ 勉強会・学習会
- ・ 自治基本条例の勉強会

【課題】

- ・ 住民が知らない

(2) 自治会活動

【参加の現状】

- ・ 地区内の消毒、照明の交換
- ・ 防災施設の見学(避難場所の確認)
- ・ 子ども見守り活動
- ・ 公園の除草
- ・ 夜回り

【課題】

- ・ 参加費など限界
- ・ 参加継続性の欠如
- ・ 世代構成が偏る(若い人が少ない)
- ・ 若年者の活動は持続性がない(活動を深められない)

(3) 自主活動

【参加の現状】

- ・ 生と死についての社会教育
- ・ 女性の会
- ・ 読み聞かせ(朗読グループ)
- ・ 新しい福祉をデザインする市民の会
- ・ 市民大学(講座)企画運営委員
- ・ ゴミ拾い(川岸)
- ・ 雑学クラブ
- ・ 高齢者のためのサロン活動
- ・ 楽しく歌う会
- ・ 施設訪問
- ・ 音楽活動
- ・ 独居家庭の問題・手助け

(4) 審議会

【参加の現状】

- ・ 介護保険審議会
- ・ 公民館審議会
- ・ 男女共同参画審議会

【課題】

- ・ 事後報告に終始してしまう
- ・ 討議内容が当日渡し
- ・ 発言が公募委員に偏る
- ・ 個人の域を出ない
- ・ 発展性がない
- ・ 個人情報行き過ぎによって支援に壁がある

(5) 議会

【課題】

- ・ 議員の政務調査費など、お金の使い方が課題
- ・ 透明性が低い

市民参加の現状と課題【2班】

(1) 市民参加

【課題】

- ・ 役所も国も利用出来る人がいると、その時だけ利用する利用された人は2度と協力しない
- ・ 市民参加に必要な情報が十分開示されていない
- ・ 個々では能力のある方が多くいるが、それが周りに知られておらず十分に活かされていない
- ・ ルートがバラバラ⇒自治会、商工会、まちづくり会議
- ・ 情報を得る手段も含め、知らせてほしい(レイクタウンは赤字か黒字か分からない)
- ・ 法律改定や通達によって環境整備が行われる場合は、その環境で生活する当事者の声を出す場、タイミングの配慮がもっと必要

情報

(2) 議会

【課題】

- ・ 議会の傍聴に際して、分かりやすい資料が提示されない

(3) 審議会

【課題】

- ・ 審議会が形骸化している
- ・ 審議会にはいつも特定の人を選ばれる傾向にある
- ・ 計画の策定以前の段階から市民参画が行われていない
- ・ 個別の参画はあるが、市の全体や長期計画(財政)への参画の場はない

(4) 自治会

【参加の現状】

- ・ 自治会が行事団体で市役所から予算を分けてもらう立場
- ・ ゴミ収集当番
- ・ 薬の散布(夏季)

【課題】

- ・ 役割を見直す(予算)《行政》配る人⇒抑える人《議会》伝える人⇒工夫する人《市民》使う人⇒配る人
- ・ 自治会の次期リーダー育成が進んでいない(連合自治会の形骸化が見られる)
- ・ 参加も若い人(20~30歳代)が少なく、高齢の方が多い
- ・ コミ協と自治会について市の考え方が整理されていない
- ・ コミ協は本来の意味での自立をしていない

(5) 行政

【参加の現状】

- ・ 市民との協働に対して前向きな姿勢がある
- ・ パブリックコメントを実施している
- ・ NPO活動に対して少なからず配慮している
- ・ 事業を実施する前に当事者の意見を聴く姿勢を持った課がある

【課題】

- ・ 市長との直接対話の機会が少ない
- ・ 市の姿勢として、行政の判断を優先させる課がある
- ・ 計画などが既に決まっていて動かさない(硬直化)
- ・ 市民参加の方法に職員が熟達していない
- ・ 当事者の意見を直接聴く機会を設けてほしい
- ・ 税金のほかに自治会費も払っており、税金の2重払いに思われる

市民参加の現状と課題【3班】

市民参加

【良い点】

- ・ いろいろな立場の意見を聴いて条例を策定することの大切さ
- ・ 多くの意見が聴ける
- ・ まちづくりに市民の協働と理解を生み出す源になる
- ・ 市民が政治、まちづくりに積極的になる
- ・ 公募委員の数が増加した
- ・ 市民参加することが自治の基本
- ・ 市民祭りが年々活発になっている
- ・ 越谷阿波踊りの評判が年々上がっている
- ・ 「ガーヤちゃん」の評判が良い

市民参加

【悪い点】

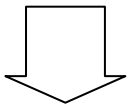
- ・ 衆愚政治になる
- ・ 一部のボスがリーダーになる(声の大きな人)
- ・ 市民参加の場所(施設)が少ない
- ・ 町会はもっと話し合う機会がほしい
- ・ 公共の施設が少ない
- ・ 参加の時間が合わない
- ・ 公募による市民だけで具体化するパワーが不足
- ・ 市民が無責任
- ・ 面倒くさい
- ・ 時間がかかる
- ・ 市民のボランティアが他市と比べて少ない
- ・ 若者の参加が少ない
- ・ 越谷の自然を活かした参加行事が少ない
- ・ 運動を行う機会はあるが、メンバーは専門的になる
- ・ 子どもの遊びの場所が少ない
- ・ 行政がなかなか市民の言うことを聞かない
- ・ 地域差が大きい(まちづくり)
- ・ 祭り等は、古くからの氏子だけで行われる

市民参加の現状と課題【4班】

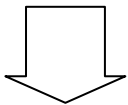
(1) 自治会を通して市民参画ってどうなのよ！

【課題】

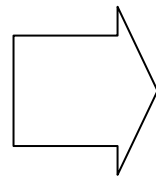
- ・ まずはこの勉強会のことを自治会ルートで市民に知らせるキャンペーンを(審議会委員公募も同様に)
- ・ 自治基本条例制定について現状では、市民の認知度が低い(自治会を通じて啓発すべき)
- ・ 最後の地域住民にいかにか伝達できるかができていない
- ・ ○○会の代表としても一部の代表、趣味の会の代表と思います
- ・ 行政が自治会になんでも押し付けている、自治会の役割を明確にするべき
- ・ 自治会のリーダーが高齢化していて、活動が十分できないようになっている
- ・ 連自治会⇒地区連自治会⇒自治会という流れになっているが、「自治会」にまで情報が届いていない。



- ・ 自治会組織は、意見を集約するのは無理だが、情報をうえから流すにはいいから活かすべき



- ・ 補完するものとして、各種団体やNPOを利用する



(2) 審議会

- ・ 各種団体の意見が聴ける
- ・ 審議会が予定調和でありすぎる
- ・ 審議会の回数が少ない、予算で無理なら審議会委員は無償でよい
- ・ 現審議会への人選に疑問

(3) 広報活動

- ・ 広報活動が不十分(いま、なにをしているのか?)
- ・ 自治基本条例審議会(勉強会も含めて)情報を企画課編集でニュースとして発行すること
- ・ インターネットだけではなく、自治会の回覧板を使つての広報がよい

(4) その他の意見

- ・ 団体を巻き込んでいないのでは?(自治会・PTAなど)
- ・ 市民のなかでも、とりわけ若い世代の認知度が低い
- ・ 人を集め一定の人に伝達、集められた人も伝達、伝達を続ける

(5) こうしたら進むよ市民参画

- ・ 各種団体への啓発・広報等をやる
- ・ 各自治会への啓発
- ・ 勉強会をもっと市民に知ってもらう
- ・ 勉強会を通じて審議会を設置しているのでよい(公募を中心としている)
- ・ 職員より詳しい知識や情報を持っているNPOや市民がいる
- ・ 流山市の例もありますので、勉強会参加のメンバーが手分けして各自治会にPR活動をする
- ・ 自治会は○○町会の代表として地域を統括していると思います
- ・ 越谷市青年会議所、越谷市商工会青年部に自治基本条例制定について説明会を開催する